

# 大槌町行方不明高齢者等 早期発見事業のご案内

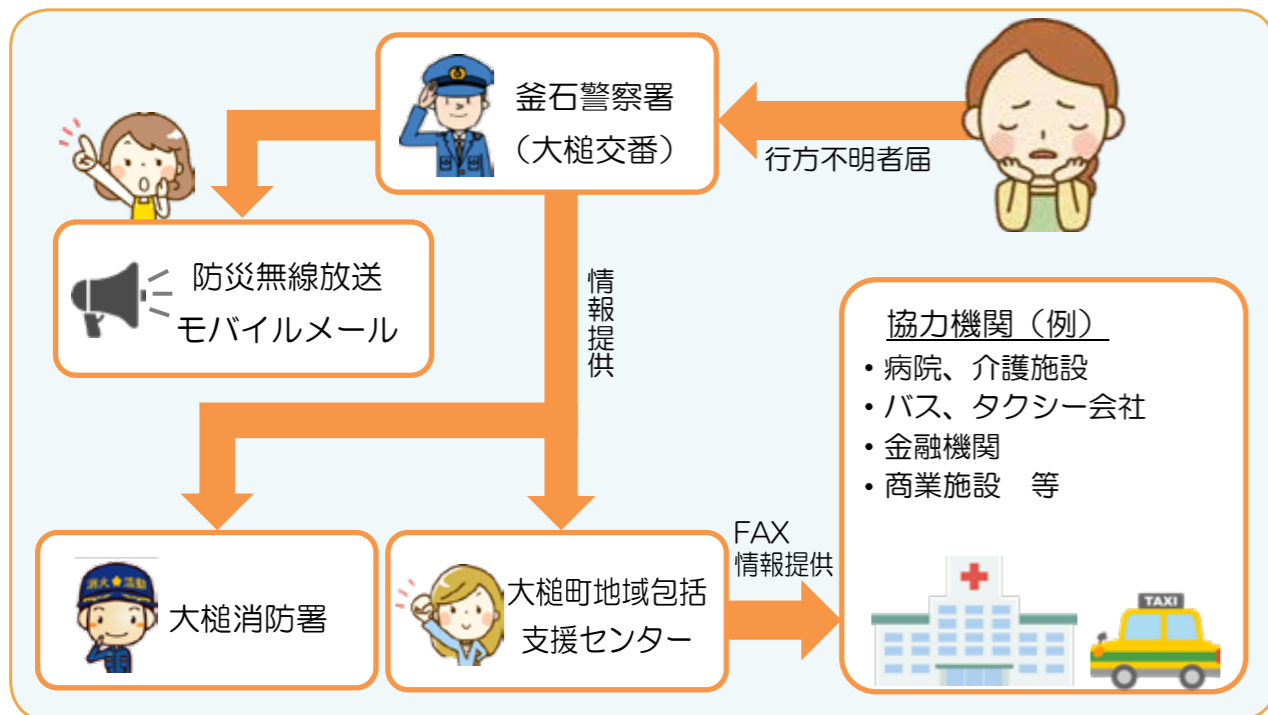


認知症の症状である「徘徊」により、自宅に戻れなかったり行方不明になったりする人が、全国的に増加しています。

この事業では、事業に協力いただける民間事業者をはじめ、地域に認知症の人を見守る“目”を増やしなが、徘徊高齢者等の早期発見・安全確保を行います。

地域で認知症の人を見守って行きましょう。

## 行方不明者発生時の流れ



## 認知症の人のご家族の皆さまへ

徘徊の心配のある人の名前や特徴、写真などの情報をあらかじめ登録しておくことで、必要な情報を迅速に警察署、消防署などと共有でき、早期発見につながります。

◆登録対象者…認知症(65歳以上)、または若年性認知症(40歳以上)により徘徊の心配のある人

※対象者、協力機関の申請は、いずれも長寿課窓口で受付します。

## 町内の事業者の皆さまへ

地域に高齢者を見守る人を増やすために、協力機関の申請・登録にご協力をお願いします。

協力機関には、行方不明者(事業登録者に限る)の情報を FAX で提供し、業務の範囲内で情報提供にご協力をお願いします。

【お問い合わせ】長寿課 地域包括支援班 TEL 0193-42-8716

平成28年度 大槌町鶴亀仙(川)柳コンクール 入選作品紹介  
(小・中学生部門 教育長賞) チャンネルが 急に変わって みとこうもん (大槌学園 小林 瑚々さん)

## 小中一貫教育だより



# 城山の風

大槌のすべての子に豊かな「育ち」と確かな「学び」を

## 大槌町PTA連合会本格始動 総会で新体制・活動方針を確認 会長に高木正基さんを選出

震災後、学校再編や地域コミュニティの崩壊などから組織だった活動ができなかった大槌町 PTA 連合会の総会が開かれ、29年度の活動計画や役員が決まりました。

町 PTA 連合会は、これまで関係諸団体との連携・協力を図るとともに、各小中学校 PTA の本来的活動とその交流を促し、一層望ましいあり方を指向しながら大槌町の教育の振興・発展に努めることを活動の方針に掲げて活動してきました。

今後、さまざまな地域活動との連携で子供たちの健全育成、学力向上運動を展開していきます。

(活動方針)

1. 両学園の PTA 役員が一堂に会した総会の開催
2. 単位 PTA の交流と親睦を深め活動を促す
3. 日本 PTA 研究大会等への参加
4. 町家庭教育講座への参加協力 (共催事業)

【29年度町P連の主な役員】

- 会 長 : 高木正基 (大槌学園 PTA)  
 副 会 長 : 芳賀康朋 (吉里吉里学園小学部 PTA)  
                   松橋文明 (大槌学園学園長)  
 事務局長 : 古里康彦 (吉里吉里学園中学部副校長)  
 監 事 : 門崎みどり (吉里吉里学園中学部 PTA)  
                   佐野英子 (吉里吉里学園中学部 PTA)  
 母親委員長 : 黒澤基子 (大槌学園 PTA)  
 \*高木会長は、県 PTA 連合会の副会長も務める

## おおつち型教育プロジェクト ▶今後の取り組み

### テーマ分科会の開催

教職員、中学生、高校生、PTA、地域、行政などグループを対象に懇談会を開催します。

### 全体懇談会の開催

8月7日(月) 午後6時から中央公民館大会議室  
テーマ分科会での課題を共有し、解決にむけた作戦会議を行います。

### おおつち教育未来会議

10月15日(日) (予定)  
将来の大槌を支える子供たちのために私たちができることを考え実践していきます。

## 学力日本一の村 東成瀬に学ぶ 派遣研修で授業(東成瀬中)



人口2,576人(平成29年4月1日現在)の小さな村「東成瀬」。

奥羽山脈の秋田県側にあるこの村は、いま、学力日本一の村として日本中の注目を浴びています。

鶴飼孝教育長は「んだなっす、まんず、何んも特別なことはしてないのっしや・・・」とさらりと言いますが、小さな村だからこそ「子供たちに人のシャワーを浴びせ、みんなでやるべきことは村のみんながやる」をブレずにやり続けているのです。

これまでに、大槌町から40数名の先生方が東成瀬を訪れました。「大槌型研修」として4年目を迎えたこの研修は、単なる視察に終わらないことが特徴です。参加した先生方の「気づき」「学び」を確かめ合い、次の自らの実践につなぐ作業(研究会)をその場で行わせてもらっています。

今回の研修では、加えて授業をさせていただきました。大槌学園から参加した武田啓佑先生が東成瀬中の1年生を対象に社会科の指導に挑戦しました。



年間、600名ほどが視察研修に訪れますが、他校の先生が授業を行うのは、東成瀬始まって以来のことだそうです。当然のことながら、万全の準備のもとに進められた学習ですが、授業中の生徒の集中力がとぎれない、自分で考え自分のことばで話す学びの姿勢が50分間続きました。

指導後の武田先生の感想に「…一番勉強できたのは、誰よりも私自身です。皆さんが当たり前に取り組んでいる授業の風景は外から見るとすごい風景なのです…私が学んだことを大槌でも生かしていきたいと思います。」とありました。

大槌の学びが変わる予感がします。

平成29年度版「学校支援地域カレンダー」を保護者、関係機関に配布しました。大槌、吉里吉里の両学園と大槌高校の行事予定を掲載しています。学校へのお出かけや家庭・地域での過ごし方の参考にさせていただきたいと思っています。  
(問い合わせ: 教育委員会事務局学務課 42-6100)